

建設リサイクル資材認定申請（新規）に係る関係書類

再生人造鉱物繊維断熱材（グラスウール断熱材・ロックウール断熱材）（申請書に添付する目次）	新規申請 付箋番号
* 必須書類	
1 建設リサイクル資材認定（新規）申請書	1
2 建設リサイクル資材の供給区域の申告書 （第1号様式別紙3）	2
3 法人の登記事項証明書の写し （申請日前3箇月以内のもの。）	3
4 その他添付書類等（会社案内 申請資材に係る広報資料等）	4
5 公的試験機関が行う環境に対する安全性に係る試験結果 （申請日前3箇月以内に行ったもの。）	5
6 再生資源の含有率の根拠となる計算式等の資料	6
7 再生資源利用状況報告書 （第1号様式別紙1）	7
8 公的試験機関が行う品質・性能に係る試験結果（申請日前3箇月以内 に行ったもの。）又は適合する規格に係る認定書の写し	8 (JIS規格適合性 認証書)
9 ①製造工場の全体配置図及び②写真、③再生資源及び④申請資材の保 管場所、⑤申請資材の製造工程の概要等の資料	9
10 品質管理体制に係る資料	10
* 以下については該当する場合提出が必要です。	
11 申請者以外が製造した再生資源を用いた資材は、再生資源納入証明書 （第1号様式別紙2）	11
12 JISマーク製品においては、その製造工場が記載された日本産業規格 適合性認証書の写し	8
13 ISO9001 認証取得工場においては、認証の写し及び認証の範囲を示 す書類の写し	
14 その他公的団体の認証評定取得工場においては、証明書類の写し	
15 資材を生産・販売するにあたって法令に関する証明が必要な場合は、 その証明書の写し	
16 グリーン調達基準の別表第8に定める再生木質ボードの評価基準に掲 げる再生資源以外の木質材料を用いた再生木質ボードの資材は、その合 法性及び持続可能性を証明する資料	

目次どおりに付箋をつける

建設リサイクル資材認定申請書

令和〇年〇月〇日

神奈川県県土整備局長 殿

ポスト投函日

申請者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
 氏名 〇〇株式会社
 代表取締役 〇〇 〇〇
 電話番号 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

神奈川県県土整備局建設リサイクル資材評価実施要領第5条第1項の規定により、建設リサイクル資材の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請資材の概要	認定対象品目名	再生人造鉱物繊維断熱材（グラスウール断熱材・ロックウール断熱材）	
	申請資材名	〇〇〇〇グラスウール	
	寸法・規格等	グラスウール保温帯 JIS A 9504 ① 厚さ 25mm 表面仕上げ アルミガラスクロス ② 厚さ 50mm 表面仕上げ アルミガラスクロス ③ 厚さ 25mm 表面仕上げ 寒冷紗 ④ 厚さ 50mm 表面仕上げ 寒冷紗	
評価基準の適合状況	環境に対する安全性	<input checked="" type="checkbox"/> a 特別管理（一般・産業）廃棄物を使用していない。 <input checked="" type="checkbox"/> b 公的試験機関の試験結果、公的規格等（〇〇〇〇試験） <input checked="" type="checkbox"/> c 石綿を原料としていない。 <input checked="" type="checkbox"/> d 建物の内装材にあつては、建築基準法施行令第20条の7の技術基準で使用制限を受けない材料である。	
	再生資源	再生資源の内容	ガラスカレット
		再生資源の含有率	85%（別紙のとおり）
	品質・性能	<input checked="" type="checkbox"/> 製品が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準に適合している。（「JIS A 9504 人造鉱物繊維保温材」） <input checked="" type="checkbox"/> 再生資源が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準に適合している。（ガラスカレット）	
	品質管理	製造工場	名称、所在地及び電話番号
公的規格等の取得状況			<input checked="" type="checkbox"/> JISの認証を取得している。（「JIS A 9504 人造鉱物繊維保温材」） <input type="checkbox"/> ISO9001の認証を取得している。 □その他
品質管理責任者		工場長 〇〇 〇〇	
その他	再生資源以外の木質材料の使用の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
環境負荷	<input checked="" type="checkbox"/> 再生資源を含有しない資材と比べ、エネルギー消費量の増大、地球温暖化物質の増加、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、有害物質の排吐等環境負荷が著しく増大しない。		

申請者の欠格事由	<input checked="" type="checkbox"/> 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第7条第5項第4号イからヌまで及び第14条第5項第2号イからヘまでのいずれにも該当しない。
申請理由等	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 資材の追加・変更 <input type="checkbox"/> 工場の追加・変更 <input type="checkbox"/> 再生資源の追加・変更 <input type="checkbox"/> その他評価基準の適合に影響を及ぼす変更 認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号 ()
その他添付書類等	・会社案内 ・申請資材のパフレット

連絡先	郵便番号	〒〇〇〇-〇〇〇〇	
	申請者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	神奈川県〇〇市〇〇町〇〇	
	申請者の氏名(法人にあっては、名称)	〇〇株式会社	
	担当所属	名称	〇〇〇課〇〇〇係
		電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
FAX番号		〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	

- 備考 1 「環境に対する安全性」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
- 2 「品質・性能」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
- 3 「製造工場」欄は、申請資材の製造工場すべてを記入するとともに、該当する□内にレ印を記入の上、適合する規格等を記入してください。
- 4 「評価基準の適合状況」の「その他」欄は、評価基準の品目が再生木質ボードまたは再生集成材・合板に該当する場合に、該当する□内にレ印を記入してください。
- 5 「環境負荷」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
- 6 「申請者の欠格事由」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
- 7 「申請理由等」欄は、該当する□内にレ印を記入し、新規申請以外は、()内に認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号を記入してください。
- 8 「その他添付書類等」欄は、上記以外に添付する書類の名称を記入してください。
- 9 連名で申請する場合は、「連絡先」欄は、申請者を代表する連絡先を記入してください。
- 10 申請者は、正本及びその写しを提出してください。

目次どおりに付箋をつける

建設リサイクル資材の価格等の申告書

公共工事に供給する場合、供給区域の考え方は、次のとおりです。

申請資材名	寸法・規格等	供給区域
〇〇〇〇グラスウール保温帯	グラスウール保温帯 厚さ 25mm 表面仕上げ アルミガラスクロス J I S A 9 5 0 4	<input checked="" type="checkbox"/> 神奈川県全域 <input type="checkbox"/> 区域限定 ()
〇〇〇〇グラスウール保温帯	グラスウール保温帯 厚さ 50mm 表面仕上げ アルミガラスクロス J I S A 9 5 0 4	<input checked="" type="checkbox"/> 神奈川県全域 <input type="checkbox"/> 区域限定 ()
〇〇〇〇グラスウール保温帯	グラスウール保温帯 厚さ 25mm 表面仕上げ 寒冷紗 J I S A 9 5 0 4	<input checked="" type="checkbox"/> 神奈川県全域 <input type="checkbox"/> 区域限定 ()
〇〇〇〇グラスウール保温帯	グラスウール保温帯 厚さ 50mm 表面仕上げ 寒冷紗 J I S A 9 5 0 4	<input checked="" type="checkbox"/> 神奈川県全域 <input type="checkbox"/> 区域限定 ()

備考 1 この書類は、資材の単価決定に当たって参考としますので、留意して作成してください。
 なお、単価決定方法は、神奈川県県土整備局が定める設計単価の決定方法によります。
 2 「供給区域」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「区域限定」にレ印を記入した場合は、次の区域名の中から該当する区域名を記入してください。

区域名	対象市町村
横浜	横浜市全域
川崎A	川崎市の川崎区、幸区
川崎B	川崎市の中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区
横須賀	横須賀市、三浦市、葉山町
逗子	逗子市
平塚	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
藤沢	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
小田原	小田原市
箱根	箱根町、真鶴町、湯河原町
相模原	相模原市（津久井区域を除く）、大和市、座間市
厚木	厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村
松田	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
津久井	旧相模原市城山町、旧相模原市津久井町、旧相模原市相模湖町、旧相模原市藤野町

履歴事項全部証明書

(申請日前3ヶ月以内に法務局で入手したもの)
共同企業体の場合、全ての会社分を添付してください



目次どおりに
付箋をつける



3

会社案内、製品パンフレットなど

(ホームページ掲載の該当ページをプリントアウトしたものでも構いません)

目次どおりに
付箋をつける

4

分析結果報告書

(申請日前3ヶ月以内に行った含有試験、溶出試験の結果を添付)

目次どおりに
付箋をつける

5

再生資源の含有率一覧表

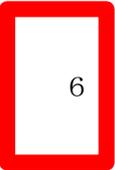
(任意様式)

グラスウール断熱材については、廃ガラス等を製品の基材部分に対する質量比で80%以上含有していることがわかるように記載してください。

ロックウール断熱材については、鉄鋼スラグ又はロックウール製品廃材を製品の基材部分に対する質量比で85%以上含有していることがわかるように記載してください。



目次どおりに
付箋をつける



6

再生資源利用状況報告書

再生資源の原料の納入者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 申請者	<input checked="" type="checkbox"/> その他
再生資源の原料	不良品として回収されたガラスウール製品	第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」のとおり
再生資源の原料の発生場所	全国各地	
再生資源の原料の処理方法	回収したガラスウール製品を、溶融する	
申請資材での年間の再生資源の使用量	〇〇 t（〇年度）	〇〇 t（〇年度）
申請資材の年間の生産量	〇〇 t（〇年度）	〇〇 t（〇年度）

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 「再生資源の原料の納入者の区分」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「その他」にレ印を記入した場合は、納入者ごとに第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」を添付してください。

目次どおりに
付箋をつける

日本産業規格適合性認証書

有効期限内の最新の認証書の写しを添付してください

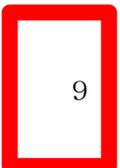
目次どおりに
付箋をつける

8

- ①製造工場の全体配置図
- ②製造工場の写真
- ③再生資源及び申請資材の保管場所
- ④申請資材の製造工程の概要図等



目次どおりに
付箋をつける



9

品質管理体制に係る資料

- 品質管理責任者が確認できる資料
- 社内の品質管理（製品製造時、製品規格、製品保管時など）に関する社内マニュアルなど

目次どおりに
付箋をつける

10

再生資源納入証明書

令和〇年〇月〇日

（申請者） 殿

納入者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号(〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

再生資源を次のとおり納入していることを証明します。

再生資源の原料	廃棄されたガラス瓶
再生資源の原料の発生場所	全国各地
再生資源の原料の処理方法	破碎処理等の後、一定の大きさに揃えている
再生資源の内容	ガラスカレット
再生資源の納入量（実績及び納入予定）	〇〇 t

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
2 再生資源の原料が廃棄物に該当し、廃棄物処分業許可が必要となる場合は、当該許可証の写しを添付してください。

目次どおりに
付箋をつける